

2008中野区区民意識調査

《概要版》

調査の概要

【調査の項目】

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 定住意向 | 6 生活の安全（防災） |
| 2 生活環境の満足度 | 7 インターネットの利用状況 |
| 3 地元（住まいの近辺又は最寄り駅周辺）商店の利用 | 8 施策への要望 |
| 4 コンビニエンスストアの利用 | 9 区の窓口対応等 |
| 5 いろいろなサービスの利用 | |

【調査対象】中野区民で20歳以上の男女個人

【標本数】1,300人

【有効回収数】887人（有効回収率68.2%）

【標本抽出方法】層化二段無作為抽出法

【調査期間】平成20年8月29日（金）～平成20年9月20日（土）

【調査方法】郵送配布・訪問回収

調査の概要

- 1 （複数回答）と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 集計は小数点第2位を四捨五入して算出しているため、回答率を合計しても100%にはならない場合があります。
- 3 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。このため、複数回答の設問については合計が100%を超えることがあります。
- 4 グラフや数表中の「n=*」（*は数字）は設問の回答者数を表します。

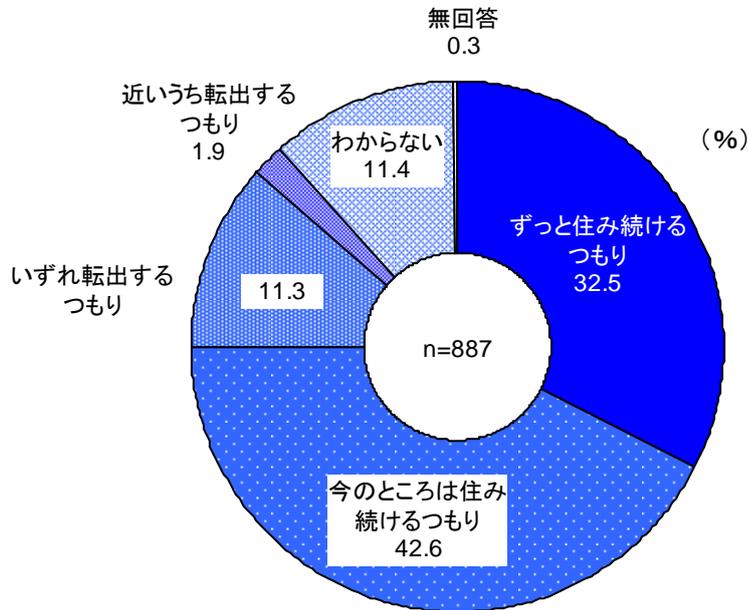
2009年（平成21年）3月

中野区

1 定住意向

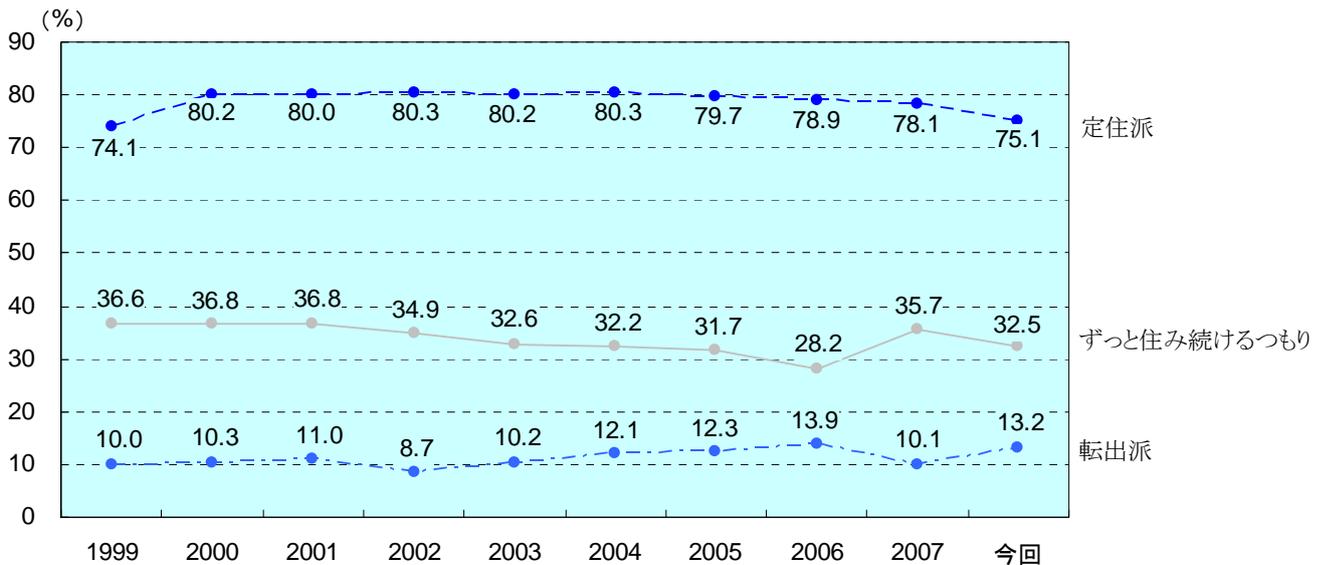
1 定住意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」「今のところは住み続けるつもり」の合計を『定住派』、「いずれ転出するつもり」「近いうち転出するつもり」の合計を『転出派』とすると、『定住派』は75.1%、『転出派』は13.2%となっている。



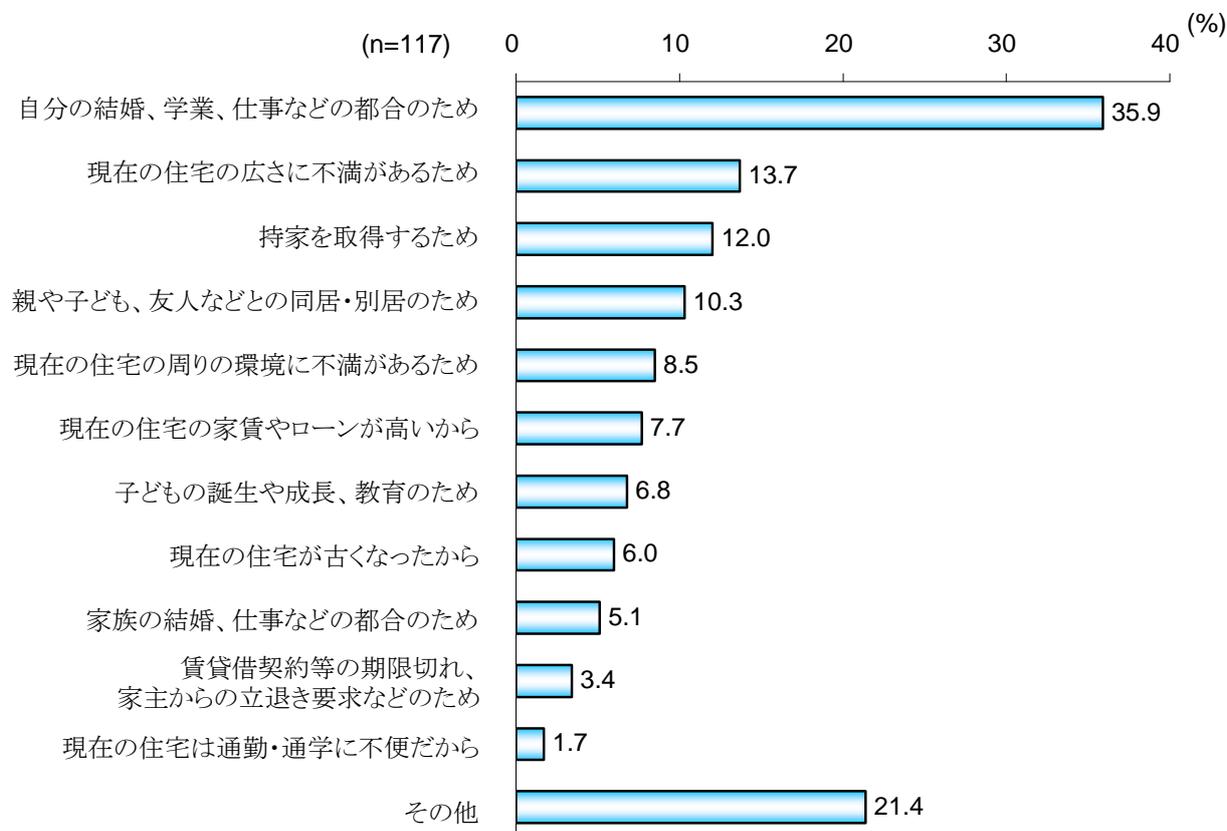
1-1 定住意向の推移

定住意向の過去10年間の推移をみると、『定住派』は2005年以降減少傾向にあり、「ずっと住み続けるつもり」は前回(35.7%)より減少して32.5%となった。一方、『転出派』は前回(10.1%)より増加して13.2%となった。



2 転出理由

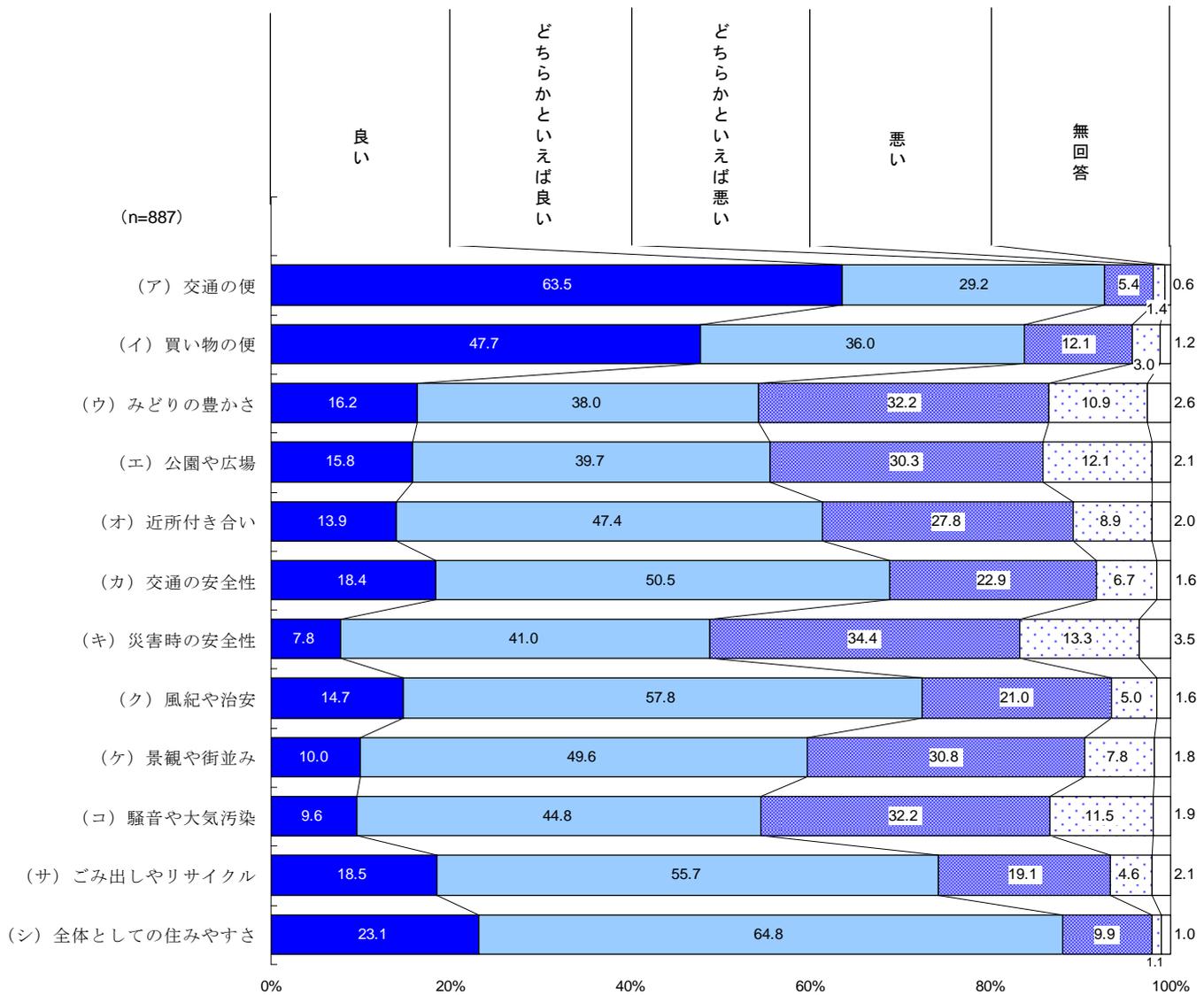
転出を考えている人に転出理由を聞いたところ、「自分の結婚、学業、仕事などの都合のため」(35.9%)が最も高く、次いで「現在の住宅の広さに不満があるため」(13.7%)、「持家を取得するため」(12.0%)となっている。



2 生活環境の満足度

1 生活環境の満足度

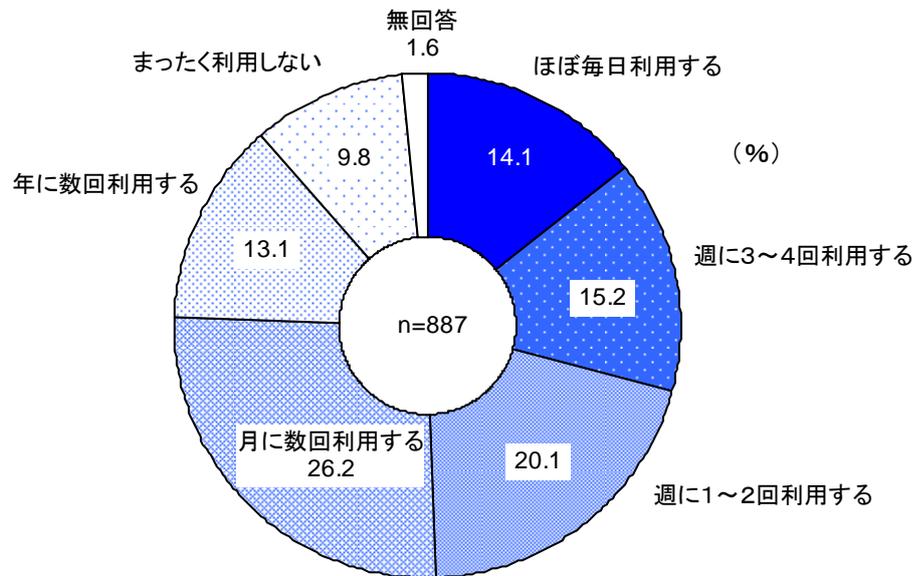
自宅周辺の生活環境に関する各項目について聞いたところ、「良い」「どちらかといえば良い」を合計した『良い評価』は、「交通の便」(92.7%)が最も高く、次いで「全体としての住みやすさ」(87.9%)、「買い物の便」(83.7%)となっている。また、「災害時の安全性」(48.8%)は各項目中『良い評価』が最も低く、災害時の不安の大きさがうかがえる。



3 地元（住まいの近辺又は最寄り駅周辺）商店の利用

1 個人商店の利用頻度

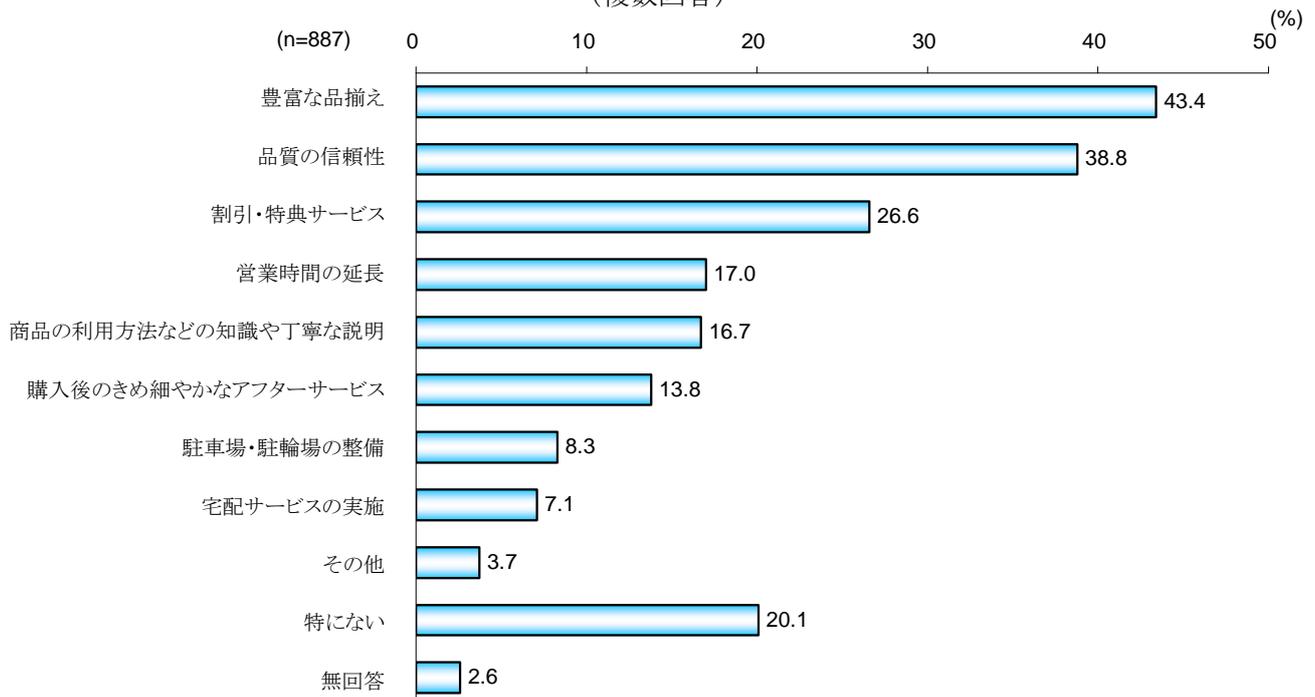
地元の個人商店の利用頻度を聞いたところ、「月に数回利用する」(26.2%)が最も高く、次いで「週に1～2回利用する」(20.1%)、「週に3～4回利用する」(15.2%)となっている。「ほぼ毎日利用する」「週に3～4回利用する」「週に1～2回利用する」を合計した『週1回以上利用する』人は約5割で、日常的な利用が多いことがうかがえる。



2 個人商店に望むこと

個人商店に望むことを聞いたところ、「豊富な品揃え」(43.4%)が最も高く、次いで「品質の信頼性」(38.8%)、「割引・特典サービス」(26.6%)となっている。

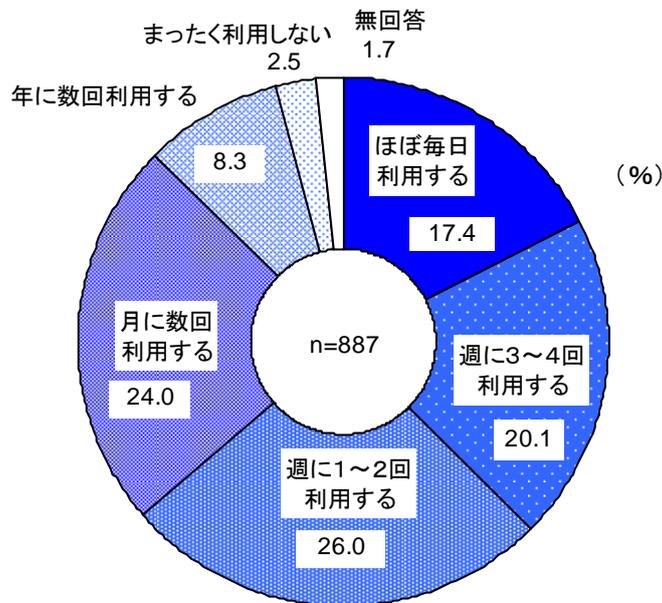
(複数回答)



4 コンビニエンスストアの利用

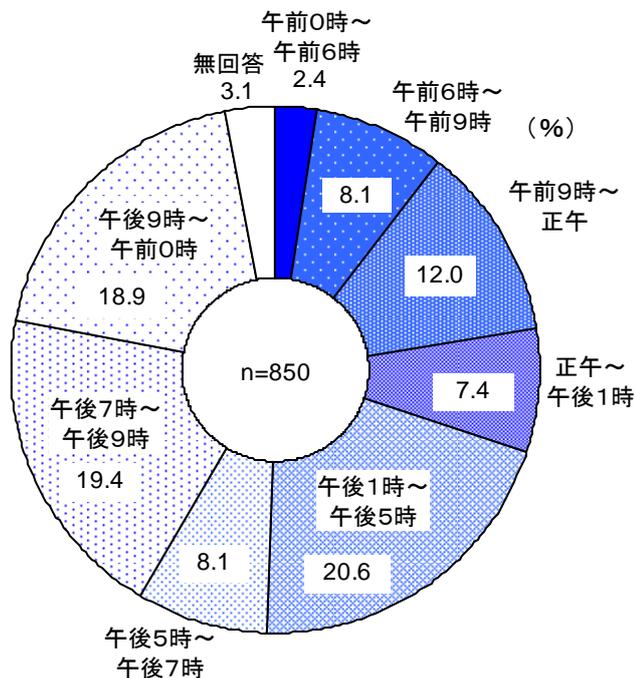
1 コンビニエンスストアの利用頻度

コンビニエンスストアの利用頻度を聞いたところ、「週に1～2回利用する」(26.0%)が最も高く、次いで「月に数回利用する」(24.0%)、「週に3～4回利用する」(20.1%)となっている。「ほぼ毎日利用する」「週に3～4回利用する」「週に1～2回利用する」を合計した『週1回以上利用する』人は6割強と高い。



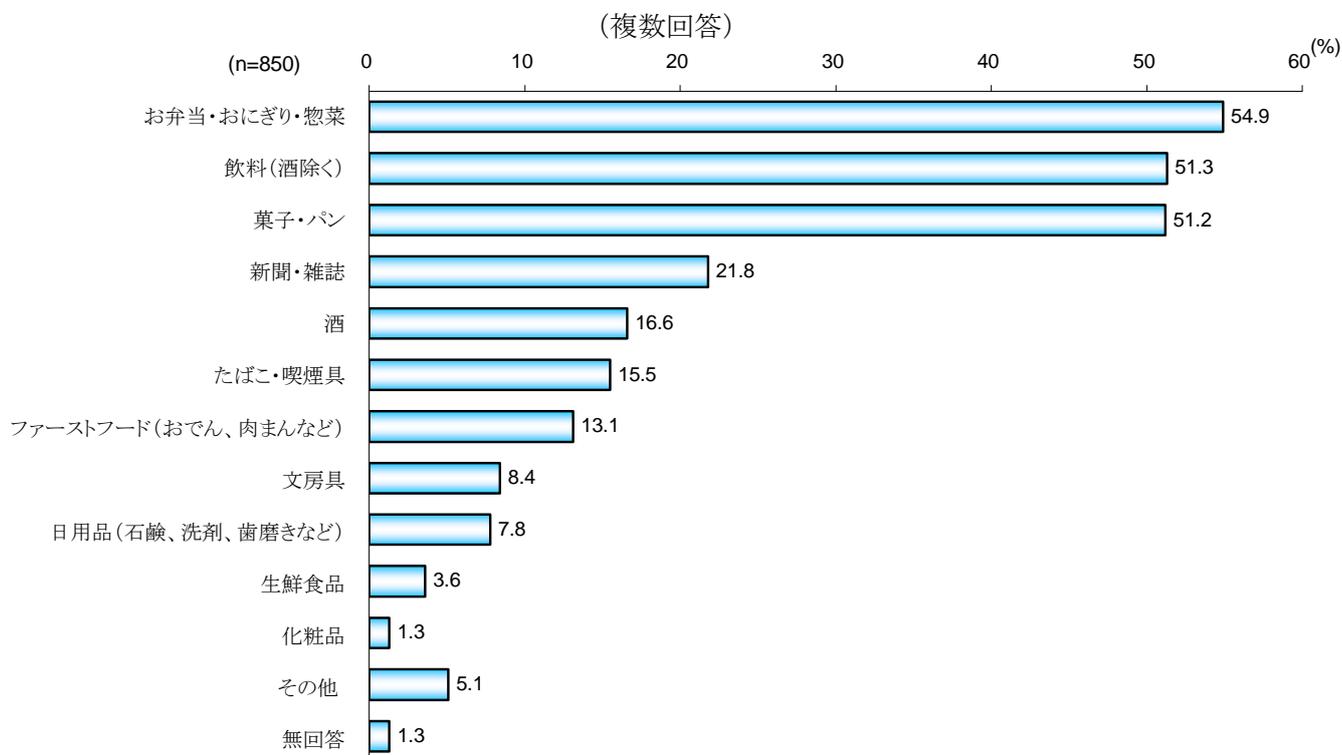
1-1 コンビニエンスストアの利用時間

コンビニエンスストアを一番多く利用する時間を聞いたところ、「午後1時～午後5時」(20.6%)が最も高く、次いで「午後7時～午後9時」(19.4%)、「午後9時～午前0時」(18.9%)となっており、午後7時から午前0時までの夜間の利用が約4割となっている。



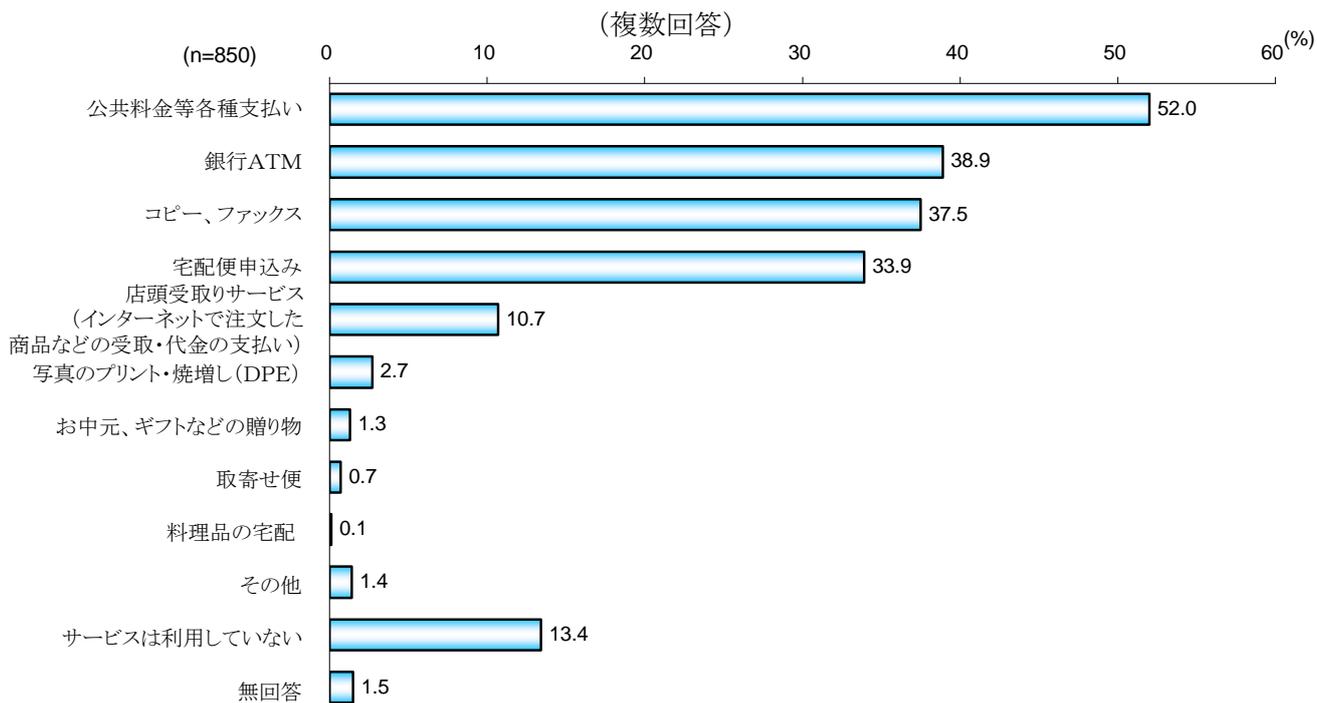
1-2 コンビニエンスストアでよく買うもの

コンビニエンスストアでよく買うものを聞いたところ、「お弁当・おにぎり・惣菜」(54.9%)が最も高く、次いで「飲料(酒除く)」(51.3%)、「菓子・パン」(51.2%)となっており、コンビニエンスストアでの購入は飲食料品が中心である。



1-3 コンビニエンスストアで利用するサービス

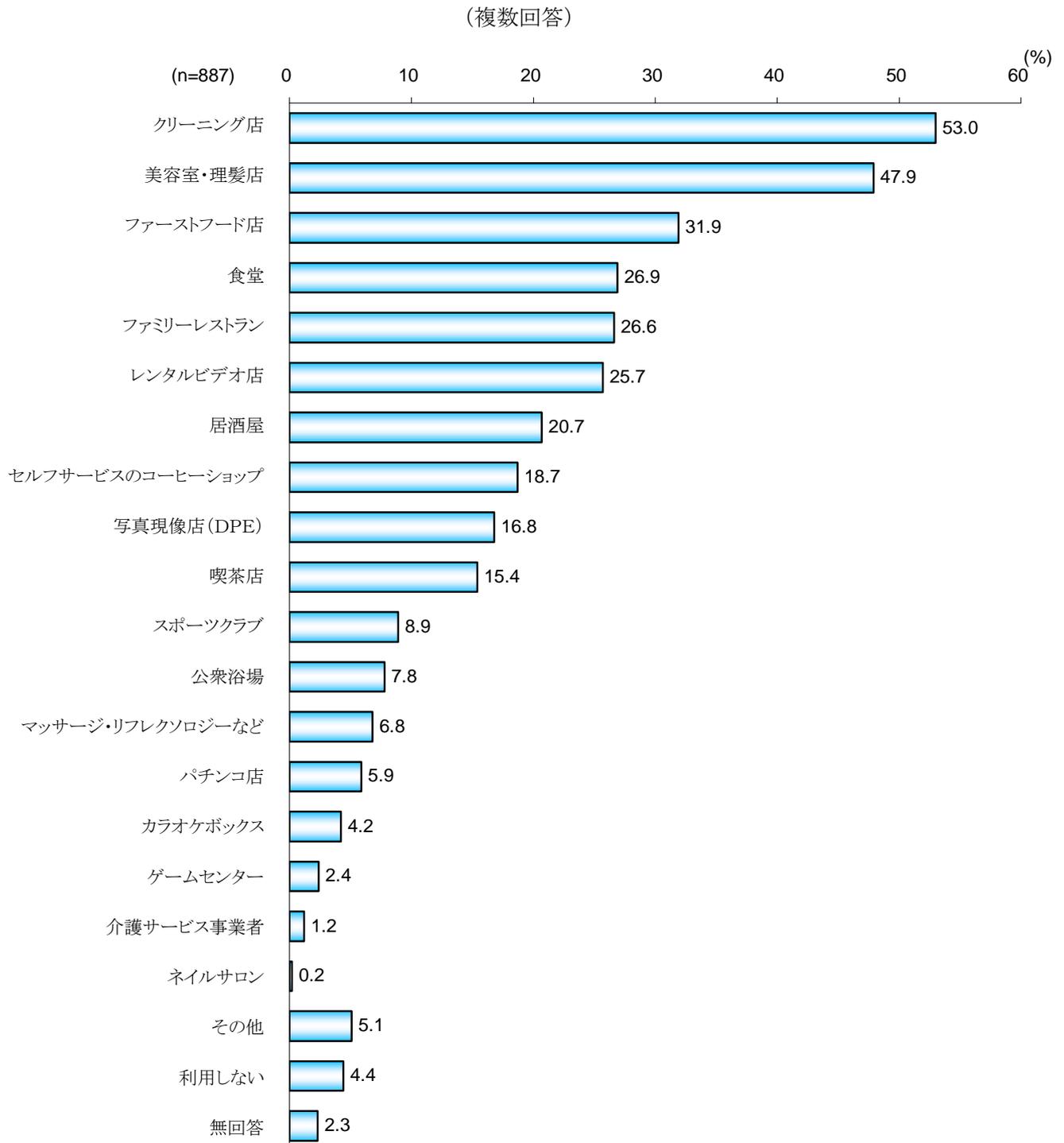
コンビニエンスストアで利用するサービスを聞いたところ、「公共料金等各種支払い」(52.0%)が最も高く、次いで「銀行ATM」(38.9%)、「コピー、ファックス」(37.5%)となっている。



5 いろいろなサービスの利用

1 地元の店でふだん利用するもの

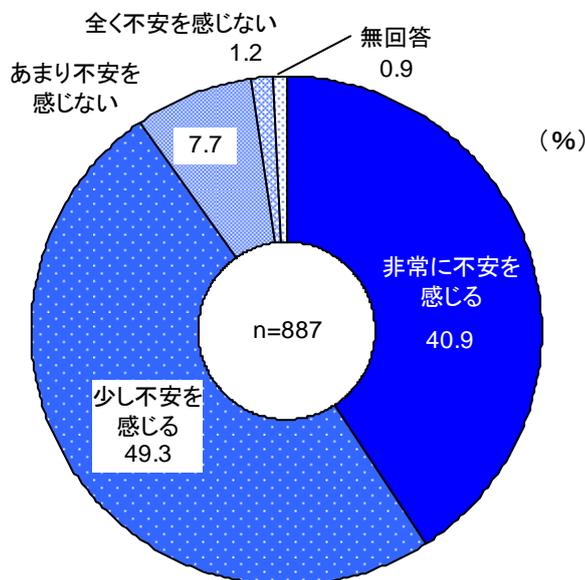
地元の店でふだん利用するものを聞いたところ、「クリーニング店」(53.0%)が最も高く、次いで「美容室・理髪店」(47.9%)、「ファーストフード店」(31.9%)、「食堂」(26.9%)、「ファミリーレストラン」(26.6%)が続いており、上位5項目中3項目に飲食店があげられている。



6 生活の安全（防災）

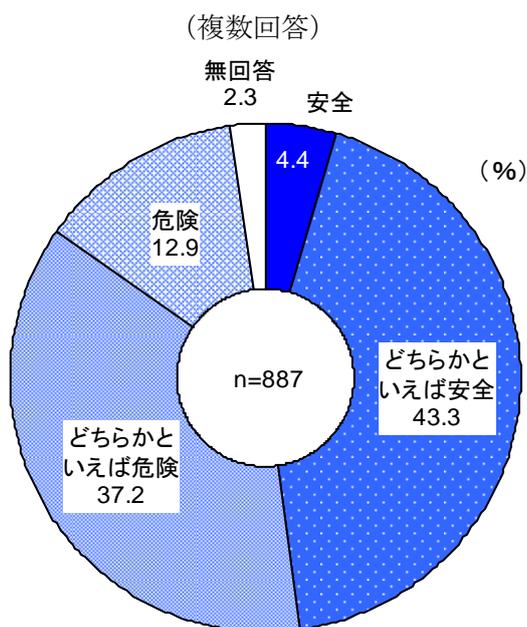
1 大地震が起こる不安

東京に大地震が起こるかもしれないという不安を感じるかを聞いたところ、「少し不安を感じる」（49.3%）と「非常に不安を感じる」（40.9%）の合計が約9割を占め、多くの人がなんらかの不安を感じていることがわかる。



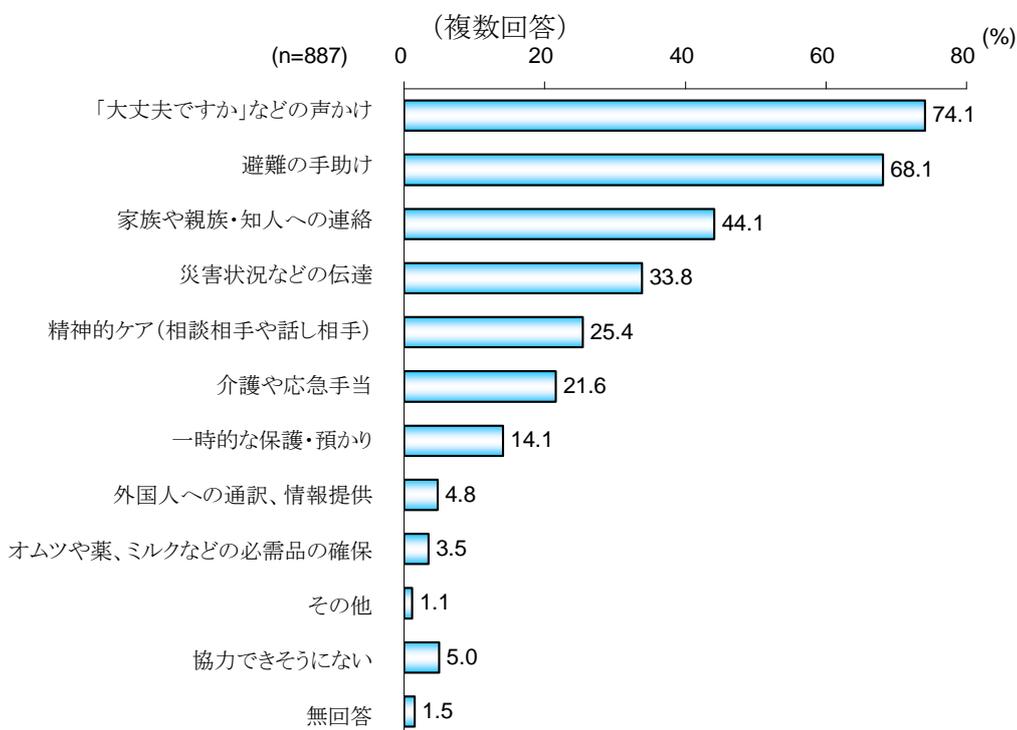
2 住んでいる地域の安全性

住んでいる地域の安全性について聞いたところ、「どちらかといえば安全」（43.3%）が最も高く、次いで「どちらかといえば危険」（37.2%）、「危険」（12.9%）となっている。「危険」「どちらかといえば危険」を合計した『危険と感じている』人は50.1%で、「安全」「どちらかといえば安全」を合計した『安全と感じている』人（47.7%）をわずかに上回っている。



3 家族以外の避難が困難な人に対するの協力

家族以外の避難が困難な人に対するの協力について聞いたところ、「大丈夫ですか」などの声かけ（74.1%）が最も高く、次いで「避難の手助け」（68.1%）、「家族や親族・知人への連絡」（44.1%）となっている。

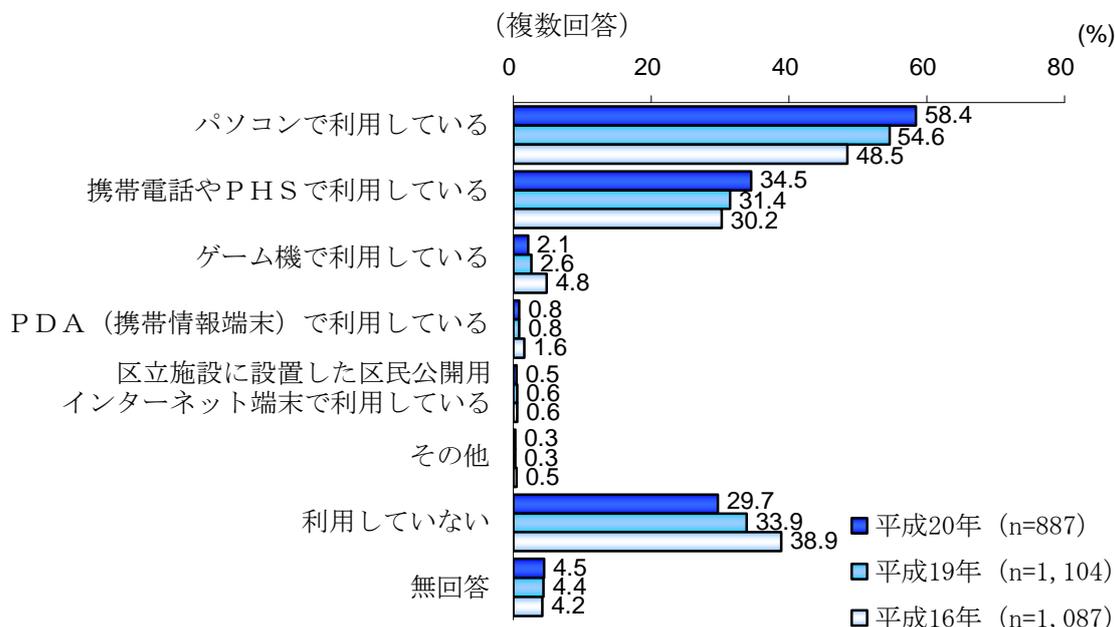


7 インターネットの利用状況

1 インターネットの利用状況

仕事以外のインターネットの利用状況を聞いたところ、「パソコンで利用している」（58.4%）が最も高く、次いで「携帯電話やPHSで利用している」（34.5%）となっており、その他の利用方法は1割以下となっている。一方、「利用していない」は全体の約3割みられる。

過去の結果（平成19年、平成16年）と比較すると、「パソコンで利用している」、「携帯やPHSで利用している」が増加傾向にあり、「利用していない」は減少傾向にある。

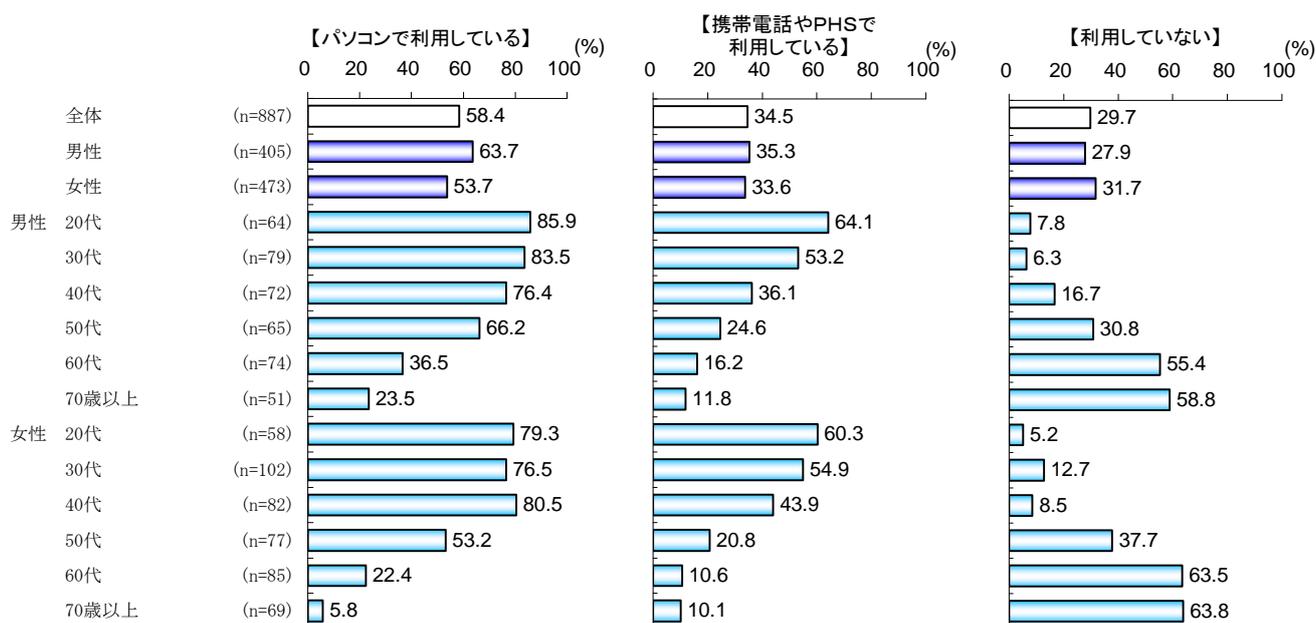


1-2 インターネットの利用状況（性・年代別）

インターネットを「パソコンで利用している」「携帯やPHSで利用している」「利用していない」と答えた人について、性・年代別で表すと、以下の図のようになる。

性別で見ると、「パソコンで利用している」は男性（63.7%）が女性（53.7%）より10ポイント高くなっている。

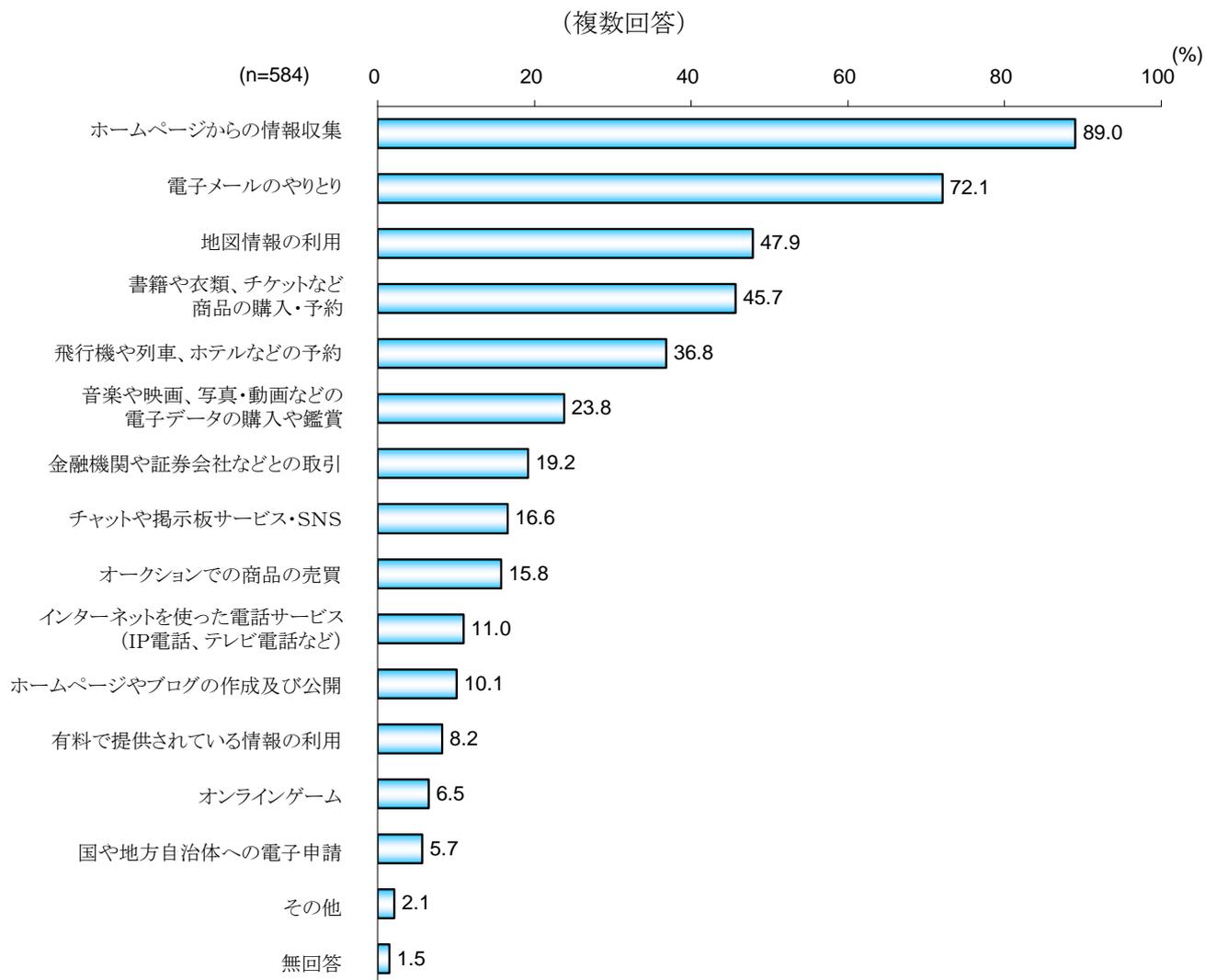
性・年代別で見ると、「利用していない」は男女とも概ね、年代が上がるにつれて高くなっており、60代、70歳以上では男性の5割以上、女性の6割以上が仕事以外でインターネットを利用していないことがわかる。



2 インターネットの利用目的

インターネットの利用目的を聞いたところ、「ホームページからの情報収集」(89.0%)が最も高く、次いで「電子メールのやりとり」(72.1%)、「地図情報の利用」(47.9%)と情報検索、通信での利用が上位3項目を占めている。

また、それらに続いて「書籍や衣類、チケットなど商品の購入・予約」(45.7%)、「飛行機や列車、ホテルなどの予約」(36.8%)とインターネット上の買い物が上位にあげられている。



8 施策への要望

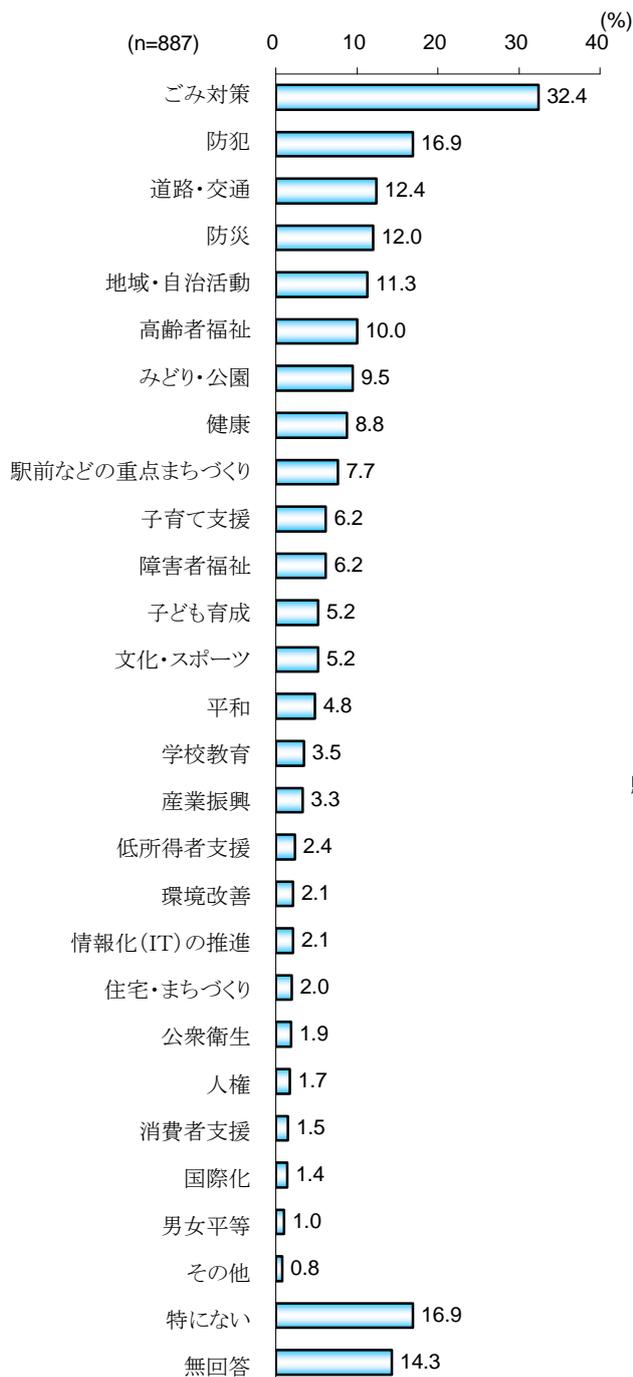
1 区の施策への評価と要望

区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「ごみ対策」(32.4%)が3割強と高く、次いで「防犯」(16.9%)、「道路・交通」(12.4%)となっている。

また、今後特に力をいれてほしい施策を、1位から3位の順位をつけてあげてもらったところ、その合計では「高齢者福祉」(26.4%)、「防災」(26.3%)、「防犯」(26.0%)が2割後半で高くなっている。この3項目は1位の部分のみだけで1割以上を占めている。

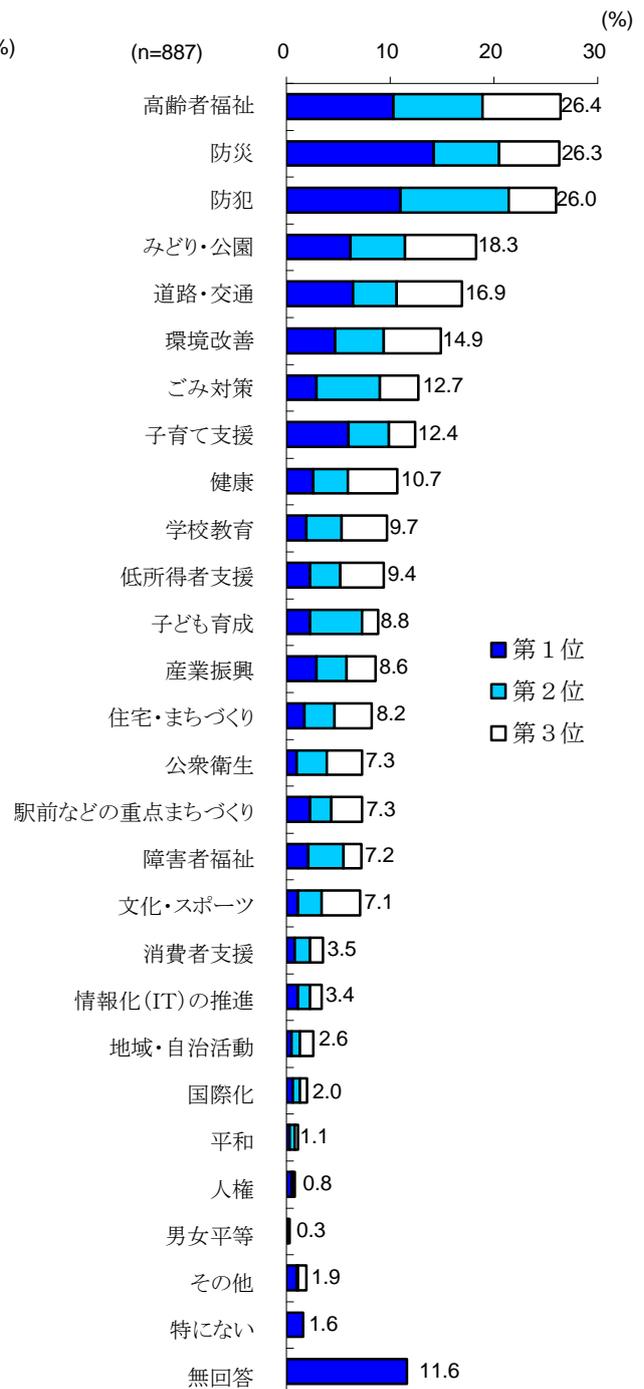
【区の施策への評価】

(複数回答)



【区の施策への要望】

(第1位～3位と合計)

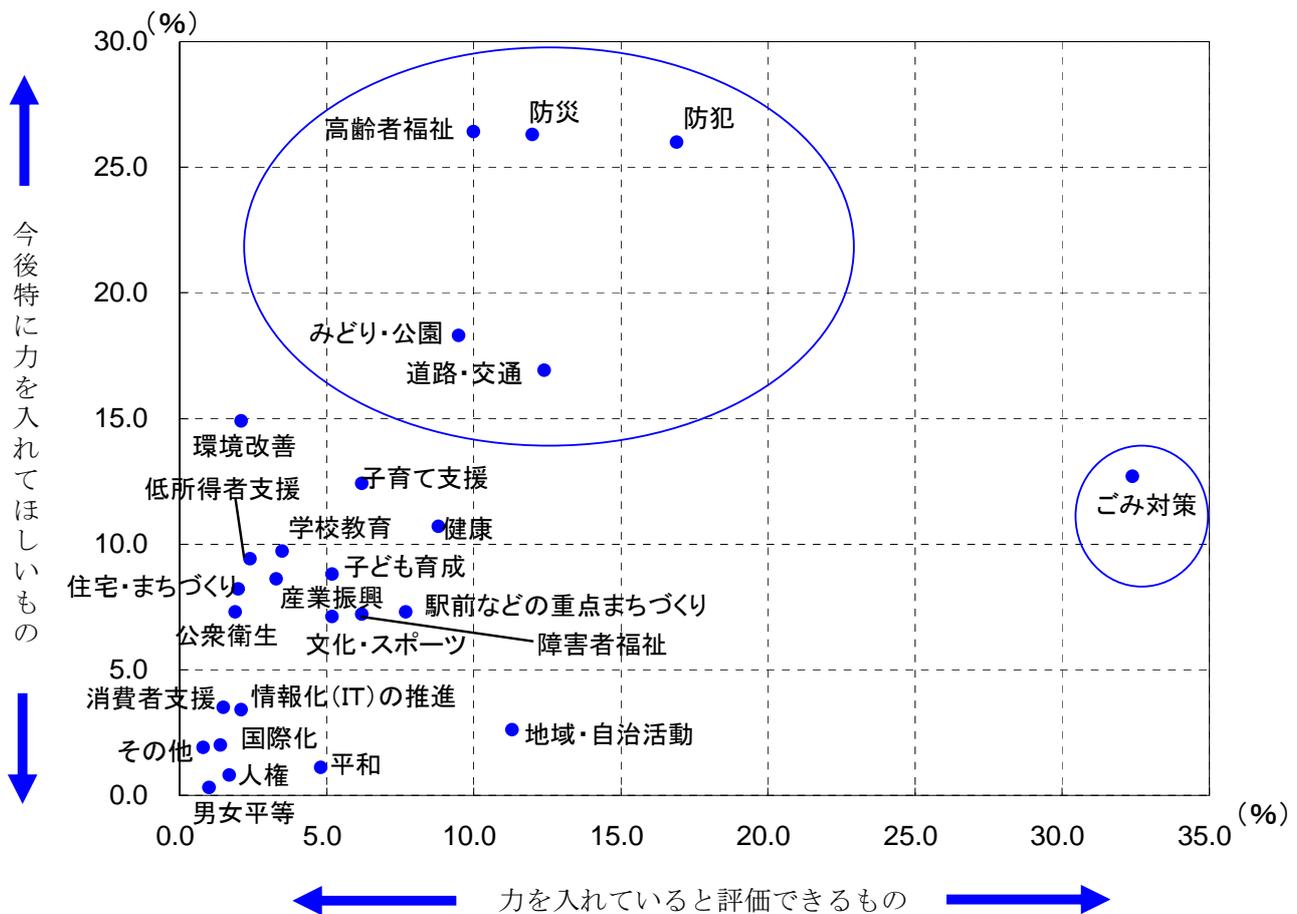


1-2 区の施策への評価と要望（散布図）

区の施策への“評価”と“要望”との関係を見るために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、26項目とその他の位置をあらわしたのが以下の図である。

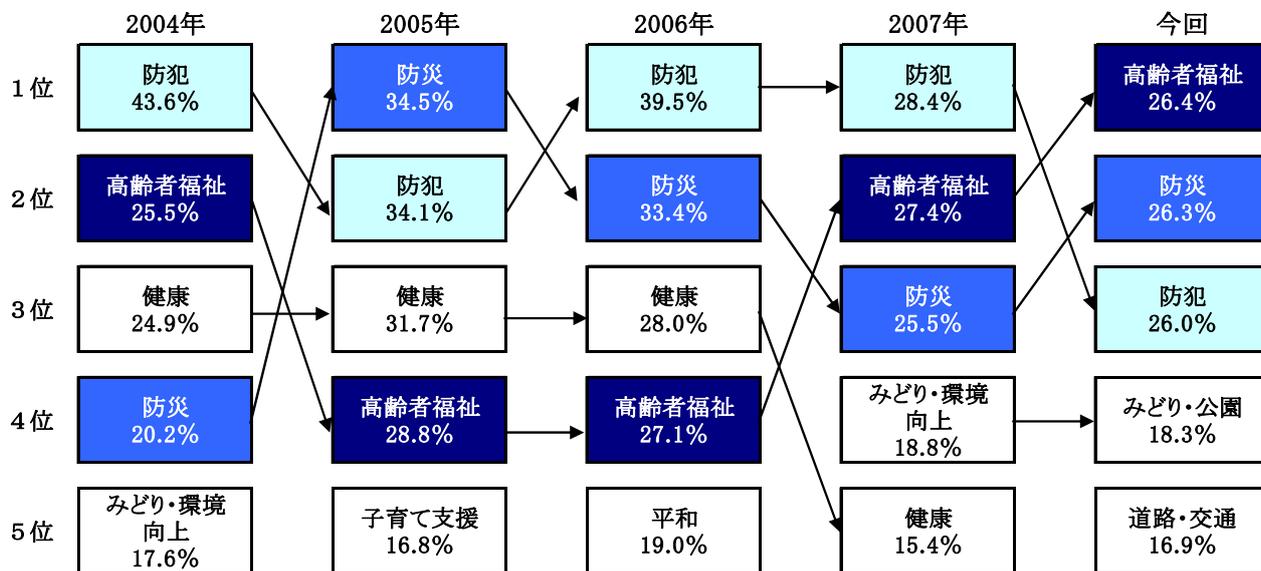
この図では、左下に位置するほど「評価」が低く、「要望」も低い項目であることを、逆に図の右上に位置するものほど「評価」が高く、「要望」も高い項目を意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」が低く、「要望」が高い項目であることを、逆に右下に位置するほど「評価」が高く、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリー別でみると、左上には「高齢者福祉」や「防災」、「防犯」、「みどり・公園」、「道路・交通」が位置づけられている。また、右下には、唯一「ごみ対策」が位置づけられている。



2 区の施策への要望（順位の変化）

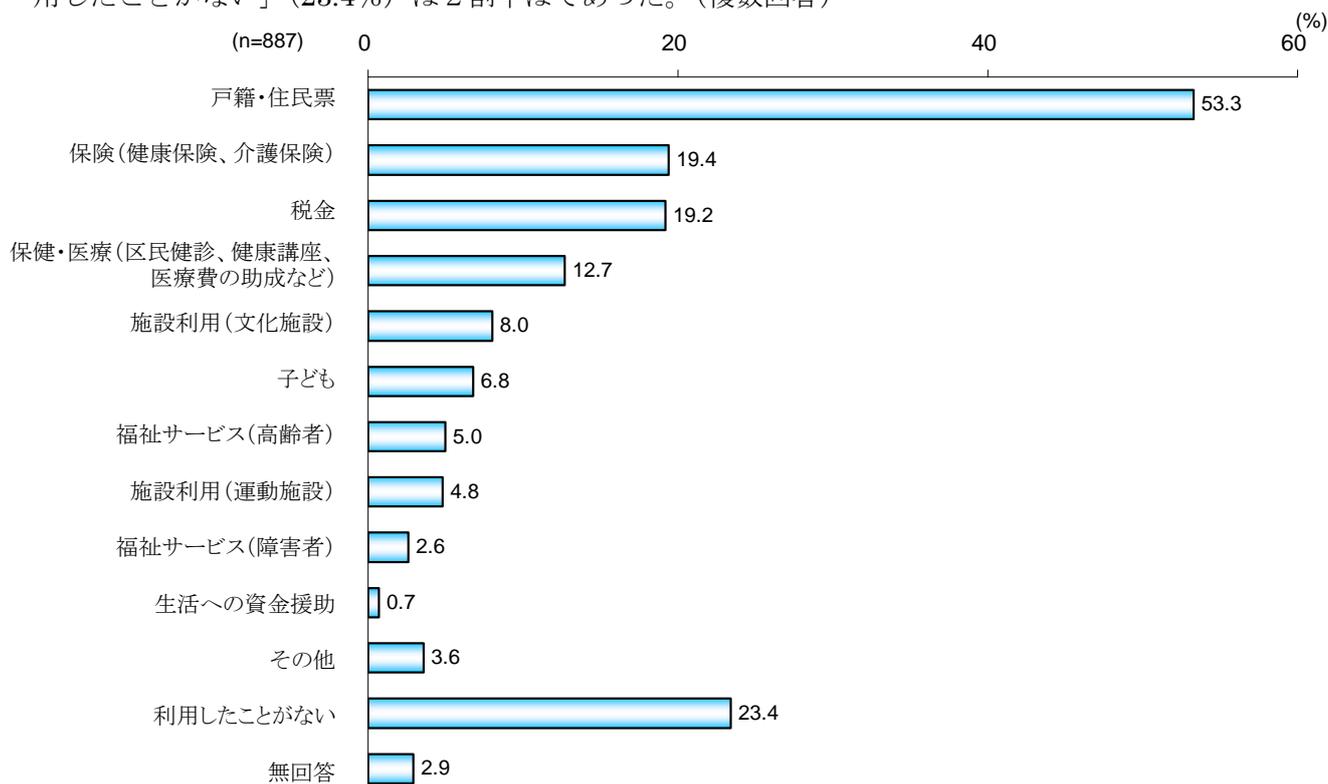
過去5年間の区の施策要望上位5位の推移をみると、昨年2位であった「高齢者福祉」が今回1位となり、2004年度、2006年度、2007年度に1位であった「防犯」が今回は3位となっている。昨年と今回の上位3位は、順位は違うが同じ項目が並んでいる。



9 区の窓口対応等

1 区の窓口等の利用

どのような用件で区の窓口を利用または電話したかを聞いたところ、「戸籍・住民票」(53.3%)が最も多く、次いで「保険(健康保険、介護保険)」(19.4%)、「税金」(19.2%)となっている。また、「利用したことがない」(23.4%)は2割半ばであった。(複数回答)



2008 中野区区民意識調査概要版

平成 21 年 3 月

発行 中野区政策室統計調査担当

〒164-8501

東京都中野区中野 4-8-1

電 話 03-3228-8892

F A X 03-3228-5643